

## 1 第5次総合計画総括結果の概要と新たな計画に向けた課題について

No.	意 見	対 応
1	市民意識調査の結果、タイプⅠに分類された分野が特に力を入れていく分野かと思うが、報告書における課題との結びつきがわかりづらい。	課題は網羅的に整理しており、タイプⅠに分類されたものだけが課題となる訳ではなく、満足度が高い施策について、より充実を図ることも課題となり得る。 会議資料の作成に当たって、分かりやすい内容となるよう努める。
2	市民参画について、総括の内容が心許なく感じる。また、行財政の分野が市政において重要だと思うが、書き込みが足りないのではないか。	総括結果報告書は、第5次総合計画の総括として、他の分野や施策に関する記述とのバランスを図りつつ総括的に記述している。市民参画、行財政分野に関する課題等の書き込みは、基本計画の策定過程で内容を検討する。

## 2 基本構想骨子（案）について

No.	意 見	対 応
1	施策体系について、今の組織機構ごと（部ごと）に分けてもよいのではないか。	組織の硬直化（縦割り）の防止はもとより、本来、計画（目指すところ）があり、それを実現するために組織があると考えられることから、現在の組織機構も踏まえつつ、施策体系を設定している。
2	将来像実現のための基本方向をそれぞれ「～のまち」で止め、その次にその街を実現するための施策が来る、という流れの方がわかりやすいのではないか。	ご意見を踏まえ、将来像実現のための基本方向をそれぞれ「～のまち」に変更する。また、現在の第3章（共通理念）と第4章（政策分野）の構成は入れ替えを行う。
3	基本方向について、「魅力を高める」、「弱点を克服する」、「将来への課題」とするとういう3点で整理するとわかりやすいのではないか。	ご提案は、基本方向設定の際の「視点」とも理解できるため、これらの視点も踏まえて基本構想や基本計画の検討の際の参考とする。
4	将来像の「みんなでつくる」という表現が負担になる人もいるかもしれない。「つくる」を「育む」にしたり、主語を「わたしたち」にしたりすると、表現が柔らかくなるのではないか。	ご意見を踏まえ複数案を提示させていただく。
5	基本方向は他市にも当てはまるものだと思うが、共通理念を掘り下げれば、例えば、朝霞の「誇り」はどのようなものかなどを具体的に考えると、総合計画における「朝霞市の特徴」を打ち出せるのではないか。	ご意見を基本構想や基本計画の検討の際に参考とする。
6	全体的に「都内在勤の市内在住者」をイメージさせる内容で、他の委員もその視点で意見を述べていると感じた。もう少し「市内で事業を営んでいる人」の視点を取り上げてほしい。また、「活力があるまち」が読み取れると良いと感じた。	ご意見を基本構想や基本計画の検討の際に参考とする。
7	将来像について、現状の案は堅苦しく、強制的に感じる。「育む」とすることで自主性を望むように感じられるのではないか。例えば「みんなで育む 心地よいまち 朝霞」はどうか。	将来像の案の一つとして検討時に参考とする。

## 3 その他

No.	意 見	対 応
1	冊子を作る際は誰のためのものなのかを考え、分かりやすい計画にしてほしい。また、簡単にまとめたものを配布し、詳細はホームページやSNS等に誘導する等の工夫が必要。	市民の皆さんに分かりやすい計画となるよう策定を進める。また、概要版を作成する予定のため、周知の際に活用する。

≪第9回総合計画策定委員会における意見及び対応≫

1 基本構想骨子（案）について

No.	意 見	対 応
1	基本方向の(3)「だれもが快適に暮らせる都市基盤と、産業活力のあるまち」について、この基本方向だけ表現が具体的で、他の基本方向とバランスが取れていないように感じる。	他の基本方向の記載内容と合わせて、「だれもが快適に暮らせる、にぎわいのあるまち」など、表現の見直しを行う。都市基盤や産業活力については、素案の本文に記載することを検討する。
2	第5次総合計画後期基本計画の政策分野の1つである「健康・福祉」が、第6次総合計画の案として「福祉・子ども・健康」となっている。「子ども」に関することは政策分野としては記載せず、分野を超えて横断的に実施するのがよいのではないか。	「子ども」に関することは横断的に実施するものであるが、国においても子ども真ん中社会を打ち出しており、本市としても政策分野には記載しつつ、子ども政策を効果的に施策を進めていく。
3	第5次総合計画の将来像である、「暮らしつづけたいまち」は良いフレーズだと思う。第5次総合計画で10年間育ててきたものを、第6次総合計画においてより良くするという意味で、改めて将来像のフレーズとしてもよいのではないか。	「暮らしつづけたいまち」を含めた案も用意し、審議会に意見を聴くこととする。

2 基本計画骨子（案）について

No.	意 見	対 応
1	第2章の「福祉・健康」分野の施策体系が、第5次総合計画と比較して柱の数が少なくなっているが、必要な施策は網羅されているのか。	現状に即した施策体系としており、福祉・子ども・健康分野の施策を一体的に推進できるように検討したものである。また、必要な施策は、それぞれ位置付けを行っている。
2	中柱の記載内容や数が、分野によって差があるように感じるので、精査すべきではないか。	審議会までに策定部会において再検討を行い、修正した資料を作成する。
3	「環境」は4章に位置付けているが、5章にも「環境共生」としての位置付けがある。「環境」に関することは4章に統合してもよいのではないか。	「環境」に関することを4章に統合するか、策定部会で再度検討を行う。